

～ 海賊対処の第8次派遣部隊が無事任務を終え母港に帰国する ～

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処のため、第8次派遣海賊対処行動水上部隊が3月15日に日本を発って以来、約5ヶ月ぶりに海上自衛隊呉基地へ帰国した。

第8次隊は、第8護衛隊司令（平野晃胤一等海佐）の指揮の下、護衛艦「いなづま」（山口正之艦長）および同「さざなみ」（中村正三艦長）、乗員約370名（海上保安官8名を含む）により編成され、アデン湾にて28回にわたる護衛活動を実施した。

当協会は、7月の芦田会長を団長とする第2回ジブチ訪問団のジブチ訪問の際、同地にて両護衛艦を表敬訪問している。

今般の帰国行事では、派遣隊員に対し、小川勝也防衛副大臣による訓示などが述べられた。

当協会からは、中本理事長および半田常務理事他が出席し、派遣部隊の指揮官らに花束を贈呈するなどして、護衛艦乗員の方々のご苦勞に対してあらためて感謝の意を表した。

（海務部 山内）

（添付写真）



入港を横断幕とともに出迎える当協会関係者 入港する護衛艦「いなづま」



栄誉礼を受ける小川勝也防衛副大臣



派遣隊員に対し訓示を述べる小川防衛副大臣



参列する中本理事長以下当協会関係者



平野晃胤隊司令ほか隊員に花束を贈呈する
中本理事長